

高木家文書調査報告（補遺11）

A research report on the Takagi family documents (Supplement11)

名古屋大学附属図書館研究開発室
Nagoya University Library Studies

秋 山 晶 則
AKIYAMA, Masanori

Abstract

"The Takagi family documents" now in the Nagoya University Library had been possessed from the Takagi family at 1949. The Takagi family who were "Hatamoto" with the title position of "Kohtai yoriai" in the Edo period. This documents is well known as the so-called treasury of the Kiso 3 rivers improvement historical records. The total number of this documents is estimated over 80 thousands. About 52 thousands of them had been already researched and sorted out. We have been investigating into the rest of 28 thousands, and we have reported the summary of our investigation at times.

一 はじめに

名古屋大学附属図書館が所蔵する高木家文書は、関ヶ原合戦直後の慶長六年（一六〇一）に美濃国石津郡時・多良両郷（現在の岐阜県養老郡上石津町域）へ領地を宛行われて以降、版籍奉還まで二七〇年間近く同地を支配し続けた旗本交代寄合の西高木家旧蔵文書群である。同家は、分家の東・北高木家とともに交代寄合美濃衆として大名並の格式を付与され、江戸時代を通じて普請奉行・普請見廻役など木曾三川流域の「川通御用」の役儀を勤めた。また、維新後も同地に居住し、学区取締や郡長・衆議院議員などの公職を歴任している。

文書群の内容にもこうした履歴が反映しており、治水・領地支配・家政・維新関係などに特徴的な史料を多数含み、その総点数は八万点をゆうに超えるものと推定される。旗本文書が幕府瓦解により散逸してしまった中で、他に例をみない、傑出した規模と内容を有するものとして、全国的にも注目を集めている文書群である。そのうち、五二、四〇九点については、全学事業として一九八二年度までに五巻の目録を完成し、現在、研究等のため閲覧利用に供されている。その後、一九九一年四月から、年代測定資料研究センター（二〇〇〇年四月に年代測定総合研究センターに改組）を中心に、残る三万点余の書状・書付類などに関する調査・研究が再開され、二〇〇一年八月からは、新設された附属図書館研究開発室の活動の一環として取り組まれている。

今回の報告では、二〇〇一年春に開催された附属図書館展示会の企画内容、名古屋大学以外の所蔵にかかる高木家文書関連史料の調査概要、及び二〇〇〇年四月から二〇〇二年三月までに整理を終えた二、一六六点の概要について紹介を行う。

さらに、この間、学内外から治水関連史料の照会が数多く寄せられていることに鑑み、十分な精査が終わっていない部分もあるが、追加（仮）目録として「高木家文書目録（補遺・治水関係）」を公表することとした（後掲表2）。既刊『高木家文書目録』巻三とあわせ、活用していただければ幸いである。

二 図書館展示会「川とともに生きてきた」

この間における調査事業の成果を広く公開するため、愛知・岐阜・三重の各県教育委員会及び名古屋市教育局委員会の後援を得て、二〇〇一年三月一日から十日間の日程で、「川とともに生きてきた―高木家文書にみる木曾三川流域の歴史・環境・技術―」をテーマとする展示会及び記念講演会を開催した。会期中は悪天候に見舞われる日が多かったにもかかわらず、連日、県内外から多数の参観者を迎えることができた。

展示会では、整理済み文書のうち、文書群全体を代表する治水文書を対象を絞って特徴的な史料を選び、「高木家と木曾三川流域治水」「宝暦治水前後―三川分流への挑戦」「輪中に暮らす」の三部構成により、木曾三川流域での人と自然の関係をたどる試みとした。

今回、特に意を用いたのは、宝暦治水の実像をよりリアルに描くことと、薩摩藩士に関わる事績・歴史意識の再検討であった。展示では、宝暦治水事業が、水をめぐる地域間矛盾をかえって増幅したことにも光をあて、それが「薩摩義士」像の創出へと展開するには、高木家文書の密接な関与があった可能性を指摘した。一八九〇年（明治二三）、大日本治水協会の発起人である山田省三郎が高木家に送った治水史料謄写依頼状といった史料は、それを強く支持するものと考えられる。

また、関連企画として三月二日には記念講演会が開かれ、来聴者が会場から溢れるほどの盛況のなか、秋山晶則「高木家文書整理の現状と課題」、羽賀祥二「川の碑（いしづみ）―治水と流域の歴史をたどる―」、大熊孝「伝統的河川工法の有効性について」という三本の講演が行われた。講演を通して、文書群全体の構造把握や地域の歴史意識をめぐる諸問題、現実的課題と切り結ぶ技術史研究の方向性など、今後の事業展開を考える上で、大変重要な論点が提示された。今後、こうした課題を見据えながら、文書群全体の整理・保存・活用に向けた取り組みを進めていかねばならない。

なお、展示会・講演会の詳細については、展示会にあわせて刊行された図録『川とともに生きてきた』<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/event/>

tenji/2000kawa/kawa.PDF及び『館灯』一三九号 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/koho/kanto/kanto139.pdf> も参照されたい。

三 本学以外における高木家文書の所蔵

附属図書館所蔵高木家文書の整理・研究の高度化及びそれを通じた社会貢献を構想するうえで、関連史料群の調査・データ収集は不可欠の重要な課題となる。この間、学外で行った関連史料調査は次の通りである。

一つは、高木家（西家）直系の子孫である高木貞勝氏所蔵文書である。当該文書は、既に二度にわたる調査報告が行われており、一五八点の目録が公表されている（伊藤孝幸「高木貞勝氏所蔵高木家文書」『名古屋大学古川総合研究資料館報告』一〇、一九九四年。同「高木家文書調査報告（補遺の五）『同上』一一、一九九五年）。今回、あらたに東高木家の本願寺改派問題に関する文書を所蔵されていることを確認できたので、ここに追加報告しておきたい（後掲表1、整理番号六七あゝす）。なお、関連史料として、名古屋市蓬左文庫所蔵美濃高木文書の中に、「東本願寺御門跡より臨時御使僧有之取計向一件留」（整理番号ナ五一・一四六）がある。

いま一つは、北高木家に関する文書群の発見である。高木家の分家である北高木家は、維新後まもなく当主が出奔し、絶家となったため、関連史料は散逸したか灰燼に帰したものと考えられてきた。しかし、岐阜県内のある個人宅に、北高木家に関する文書群が存在するとの情報によせられ、二〇〇一年十二月、予備調査を行ったところ、北高木家文書を核とする大変貴重な史料群であることが判明した。その後、高木家屋敷遺構ほか関係資料の調査・保存を行ってきた岐阜県上石津町教育委員会との連携のもと、地域貢献特別支援事業費（文部科学省）の措置をうけ、鋭意調査を進めているところである。その詳細については、次回調査報告で紹介することとしたい。

四 整理済み文書の概要

1 ④ C・1・(2) (家臣・分限・扶持)

この項目では、整理番号二〇三〜二三五の四八点を整理し、重複カードにより四点を含めた。

内容的には、奥向女中も含めた家臣への扶持給与の実態（扶持米勘定書付など）を示すものがほとんどであるが、ほかに、文政期の財政改革関連史料〔勝手取締行届による家中一統加増につき書付〕（二〇三）や、天保期における江戸留守居への扶持米送付に関するトラブル事例（亀崎湊廻船問屋より沢手米用捨願）などがある。

このほか、維新後の主従関係が解消されていく過程の文書として、一八八一年（明治一四）段階まで、高木家が旧家臣に扶持米を給与していたことを表す史料一〇点が含まれている。

2 ④ D・1・(2) (勤役・幕府・留守居方御用状)

この項目では、整理番号一三二〜一五六の四五点を整理した。

ここに含まれるのは、高木家の在所役人と江戸留守居方役人との往復書状（御用状）及びそれに関係する内容を持つものである。内容が多岐にわたり、各項目への分類が不可能なため、先に示された整理方針（補遺の二）通り、重複カードは作成していない。

今回整理した史料のうち、作成年代がわかるものは、宝暦一三年（一七六三）から安政六年（一八五九）までのものがある。

内容的には、領地支配に関する問題（寺檀論・山論）、江戸屋敷の維持・修復関係、参府や服忌の照会事項などである。なお、申すまでもなく、江戸留守居は、「外交官」として幕府との折衝や諸大名・旗本等との情報交換といった重要な役目を負うものであった。その一例として、幕末段階のものではあるが、江戸表での留守居の活動と情報入手のあり方をかいま見ることができる史料を左に掲げた。安政六年（一八五九）、徳川斉昭が国許永塾居処分をうけた時期、江戸留守居の三輪武左衛門が、西家家老の三輪六左衛門に宛てた書状（一四九）で

ある。

御別事御請八月廿七日被 仰出候御触面之写、北様^江先達^而参候由、右之御用状之内、廿七日・廿八日封廻状写も大河原^江差上候趣被仰下候、右封廻状之義、如何之訳^ニ候哉、只今以一向小子承り不申、且又水戸口御堅メ御見廻り安藤様、当分 水戸様^江御越候由迄も御承知之趣、右之義^者種々申（中略）小子承り候^ニ、安藤様^者 御隠居前中納言様御送り之御用被蒙 仰、水戸表へ御出候由承知仕候、尤水戸道中筋舟渡等、士・百姓ハ渡舟不致由杯申候義承り申候、別段御堅メ御人数出張申候義者承り不申候、此際、別段 御心得被遊候様之実評頓^与承り不申候、将又近頃^者殿中御沙汰書一向拜見不仕候間、何分^ニも実定之儀心得不申故、御用状^江も不申上候、尤此頃^者 勿論近年之不時御混雑之時節^ニ、殿中御沙汰書写御取寄^ニ相成候ハ、実評異評風説とも 御承知^ニ相成、至極宜敷義^ニも奉存候、若又 御上之 思召も御座候ハ、当表御屋敷最寄^ニて御目付様御家来衆又ハ 公儀御坊主衆^江か頼、御沙汰書抜貫請、月々差上候様可仕度、右御会釈金極下直^ニて盆暮式百疋も被下^ニ相成候ハ、御役替・不時御礼・封廻状迄之写貫ひ請被申候儀^ニ御座候間、此段御賢考被仰上否重便へ御下知奉願上候、右御請迄如此御座候、以上

十月三日

武左衛門

六郎左衛門様

3 ④ D・1・(3) (勤役・幕府・幕府)

この項目では、五二一〜五四七の二九点を整理し、重複カードで五点を含めた。

史料内容は、將軍宣下関係や幕閣補任など幕府の動向を示すものと、幕府崩壊に帰結する幕末の政治情勢に関するものに分けられる。

次に掲げるのは、これまでの調査でも注目されてきた、高木貞広の妹で、彦根藩の重臣宇津木家へ嫁いだ鎮（こゝ）の書状である。実家の兄貞広にあてたものであるが、一番目の書状（五三三）では、文久二年（一八六二）に起きた坂下門外の変についての江戸情報を伝え、

その江戸状も回送している。二番目のものは、元治元年（一八六四）の天狗党の乱及び長州戦争の情勢について述べるものである（I・3・1五九い）。この鎮については、井伊家重臣という婚家の環境を十分考慮する必要があるが、高木家文書中には、こうした政治情報を含む数多くの女性書状が残されており（含未整理分）、今後、武家女性の政治意識や情報世界を考察する手がかりとなるものといえよう。

○〔坂下門外の変等につき書状（抄）〕（五三二）

扱又此度のそふとふ（騒動）おき、被遊候半ながら、度々いやな御事^ニ御座候、安藤対馬守様ハかく別のおけか（怪我）もなきよふ^ニも申候へ共、またまた所^ニハ、廿三日比に御死去被遊候よう^ニも申候へ共、しかと致候御事ハ今一度江戸占御たより御座無てはわかり不申、誠^ニおたやかならぬ御事^ニ恐入奉候、委敷御事ハ御き、被遊候半ながら、江戸占申参り候書付御覽^ニ入奉候、此書付おかへし被下置候^ニハおよび不申候故、さ様思召被下置候、誠^ニおそろしき時節^ニ相成り候

○〔御待麻疹後不快の見舞及び天狗党一件ほか日本大乱の評判等につき書状（抄）〕（I・3・1五九い）

浪士も仰之通りそんかい之所占越前地^江おち行（中略）長州一条もいか、相成候と仰越、是も尾州様へ帰参致、尾州様うち候事^ミやわせ候様仰出され候由、此うへハいか、相成候事哉、いつれむつかしく成、三四月比、五月比^ニハ日本の大乱^ニも相成候様申ひよふはん御さ候故、誠^ニいやな御事と存しまいらせ候

4 ㊦ F・4・(9) (家政・書状・その他)

この項目では、整理番号一〜五八の六六点を整理した。

ここには、高木家の交際に関する史料のうち、幕閣（大老、老中、側用人、若年寄）、尾張藩用人、本願寺門跡、公家家司についてはそれぞれ独立の小項目で扱うため、これらを作成者から除いた史料が分類されている。なお、既整理分での当該小項目は（8）であったが、新たに高木家と公家との交際に着目して（8）「公家家司奉書」を新

設したため（補遺の三）、小項目番号を（9）としてある。

今回整理したもののうち、作成年代が特定できるものは半数ほどで、十八世紀から明治四年までの幅がある。内容は、時候挨拶状及び返書の下書や控のほか、井伊直弼大老就任祝詞といった官職や家督相続に関する挨拶状で占められている。その際、どのような作法（書札礼）をとれば礼儀に叶うのか、各方面に照会した内容や書式控が残されており、当時の儀礼世界を知る上でも参考となる。

5 ㊦ F・5・(1) (家政・交際・贈答留)

この項目では、整理番号三二四〜三七九の五六点を整理した。

内容としては、高木家が他家と交際していくにあたって、贈答・受贈した贈答品に関する史料が収められている。なお今回の整理では、既整理分で特徴的であった贈答記録を集積し、交際範囲が一覧できる「音信帳」の類は含まれておらず、すべて個別の出来事に関する贈答関係史料である。老中の上京時、高木家家老を通じた柏原宿での献上品目録などもここに収めた。

6 ㊦ F・5・(2) (家政・交際・その他)

この項目では、整理番号六九六〜七二一の六一点を整理した。

内容は、交際のうち、贈答関係以外の史料である。ただし、儀礼的挨拶が中心となる個々の贈答関連史料もここに分類してある。

今回整理を行った史料では、岸和田藩と尾張藩に関係するものにとまりがあったほか、撰家の二条家や越前勝山藩などとの関係についても新たな知見を得た。

まず岸和田藩であるが、高木家との交際が始まるのは、天明六年（一七八六）、高木貞藏長女の倅（千歌）が家老・中与左衛門に嫁してからで、ここに整理したのは、翌天明七年、田沼意次失脚にともなう遠州相良城受取関係の史料である。田沼の持城であった相良城の受取りを命じられたのが岸和田藩主岡村美濃守であり、家老中与左右衛門もこれに従事したため、その様子が詳細に伝えられたものである（い

ずれも、中家の用人山村統右衛門らから高木家用人宛の奉書や音信状という形をとっている。ほかに、中家の吉凶や尾張藩家臣との交際を仲介するよう依頼した書状などがある。

次に尾張藩関係では、成瀬・竹腰・石河・遠山など重臣諸家の台所役による状箱預り証明〔書状請取書付〕など、高木家が尾張藩重臣のルートを用いて江戸との情報交換を行っていた様子がうかがえる史料がある。ほかに、小笠原三九郎長盈（千二百石、十代貞藏の次女蘭が寛政四年／一七九二に入興）から、膳所領内の木内小兵衛という人物の塾居赦免を膳所藩本多家（文化一四年／高木経貞室となつた於雅の実家）に求める際の仲介依頼や、同じく尾張藩家臣間宮外記（文政十二年に高木経貞長女鏝が入興）が高木家を介して遠山報負（六代貞則女の入興先、九代篤貞の実家）との交際を願つた書状などがある。小笠原三九郎からは、天保四年（一八三三）に起きた東本願寺派門徒による騒動について、「此表御国民六万人余之騒働」により「（門主の）衣之袖チグレ候等、前代未聞之大不都合」を伝える書状「本願寺東門跡関東占帰路之節於尾州御領内大變之趣書取内密書」といつた尾張情報も寄せられている。

このほか、越前勝山藩主小笠原家の関係では、高木家に対し、江戸屋敷で消費するため「国産」養老酒の手配を依頼した一件書類がある。これらの史料は、武家領主階級内部におけるネットワークのあり方について、それぞれ興味深い事例を提供するものといえよう。

この項の最後は、公家との関係について、撰家二条家の事例を見ておきたい。二条家とは、幕末の安政二年（一八五五）に交際が開始されたことが指摘されているが（補遺の三二）、今回整理したなかには、以下のような交際開始時の書状類が含まれている。この両家の交際を仲介したのは、二条家侍の北小路撰津守俊有であつた。彼は、貞藏の弟が養子に入つた尾張藩家臣榊原家の出身で、当時の高木家当主経貞とは又従兄弟の関係にあつた。その交際契機と交際内容の一端が現れている史料を掲げておきたい。今後、ここに言及された紀州一件（志賀谷金か）ほか、高木家をめぐる政治的・経済的課題への関与等が検討課題となろう。

○〔二条家出入の礼内容指示等につき返書〕

美墨拜見仕候、如命春暖之御座候処、御揃益御壯健被成、御消光珍重御義奉賀候、過日御家来小寺士へ申入候、当御方御出入之義被成御承知候、付、尚又御念書之趣夫々委細承知仕候、則御祈願所之僧龍宝院拙宅被參候所、折節出頭中掛違不得面会候へ共、不日面会可致心得御座候、且ハ出入済付、御礼并御音物向、則別紙之通御取斗被下度、余者何事も及不申候、先右御答迄、早々如此御座候、頓首再拜

〔安政二年〕三月九日 北小路撰津守
高 修理様
机下拝答

○覚（出入の礼品につき指示書付）

覚
御献上
御太刀 御馬代
美濃紙十帖

諸大夫拾人
美濃紙 五帖ツ、
御用人三人

美濃紙 三帖ツ、
右

前書御太刀現品御差出し之事、遠路御都合之程も如何候へ、
代料二而取斗可申候、左候へハ、右御太刀代ハ銀拾五匁宜候、
且御馬代ハ銀壹枚可然と奉存候、尤 御使者御差出候も及申間
敷、御呈書可然候、御文面 粟田御殿御仕向候通可然と奉
存候、以上

○〔直談のため渡辺佐次右衛門の再上京求めるにつき書状〕

然者渡辺佐次右衛門上京之処、御国産物之一条付、引請人同伴
而俄ニ出立帰国之由、下拙儀も此度播州亀山本徳寺 姫君御
縁組御入興御用多、尤近々為御徒供罷下り候以前故、甚以繁雜罷
在、未引渡辺掛合行届不申間候故、佐次右衛門一先帰国候

とも、御国産引請人との示談相済候ハ、早速折返し出京ニ相成候様御舍被仰付候様仕度候、右者貴方^江 陸君様御縁談御拵向引請人一条^并下柳原町一件、且又紀州一件之跡仕舞方等色々御談申度、実者御直面ニ御談じも申度程之事共故、無御余念此度渡辺帰国之義、御産物引請人之御談し向相済次第、直様上京可仕様被仰付被下度候、勿論下拙播州^江 出立迄ニ何角熟談仕置度義ニ付、其御舍^ニ而^而御取斗被下、何分再早々上京之義被仰付可被下候

北小路撰津守

五月十四日

俊(花押)

高木修理様

貴報

7 ㊦ F・6・(1) (家政・規式・規式)

この項目では、整理番号九八〇一二六の二九点を整理し、重複カードにより一点を含めた。

ここに収めたものは、高木家における作法やしきたりに関する史料である。一つは、日常生活や通過儀礼、年中行事等における儀礼上の注意事項をまとめたもので、高木三家間の席次などの儀礼内容から、魚屋入館禁止の忌日、猿屋参上時の作法、屋敷祭神、「蒔土取方」といった信仰や習俗に関するものも含まれている。

また、蔵書家として知られている十代貞藏の「家訓」が確認できた。作成は、安永五年(一七七六)十一月と推定される。特別な内容を含むものではないが、高木家に残された数少ない事例として、参考までに掲げておきたい。

○貞藏 家訓

一、先^ニ公儀^ヲ後^ニ私^ヲ、忠孝第一之事

一、先祖之家名滅スヘからず、武道之心掛且 御定目之通急度可

嗜、勿論学問不可廢事肝要候也

一、衣食住随分手軽ニ華美好ヘからず、家来及百姓可憐啓事

一、人ニハ上中下三段夫々に礼義違ヘからず、且ツ以有ルヲ礼為

ス人倫

一、婦女ニ溺ルヘからず、婦人・山僧・浪人之言不可用、尤夫も人ニ因ルヘシ

一、片口不可聞、殺生猥りニ好ヘからず、大酒すヘからず

一、恒ニ居て異を不好、信義ニ敦くして日々新夕なるべし

(恒ニ居トハ世界^ニとして自立す「虫損」前之事を大切ニする也)

以上七條

丙申仲冬

冠山子誌

付与 子孫

このほか、種々の出来事に際しての食事献立や給仕作法の書付があり、天保期の財政悪化による「省略」式などが含まれている。

8 ㊦ F・7・(1) (家作・家作・多良屋敷)

この項目では、二七九〇二九四の一六点を整理した。

今回整理したのものには、天保三年(一八三二)の北家出火による類焼時のものから、埋門の整備(元治元年)、集義館新築(文久三年)といった軍事的対応が迫られた幕末段階の措置に関する書付、そして、一八九五年(明治二八)家屋改築、一九〇二年(明治三五)の高木家入郷記念碑建立にいたる時期の史料が含まれている。

なお、関連して、この間、西高木家の屋敷関係図を精査した結果、現存する最古の絵図は、「屋敷絵図」(四七)であることが確認できた。この絵図には、様々な情報が描かれているが、屋敷神の勧請年等を勘案すると、明和年間頃の絵図と推定される。このほか、「屋敷図」(八)が、天保三年の焼失で再建された際の図面であることや、いくつもの新しい知見を得たが、これらについては、稿をあらためて報告を行う予定である。

9 ㊦ F・7・(3) (家政・家作・調度品)

この項目では、整理番号四一〇七七の八四点を整理し、重複カード

で四点を含めた。

その内容は、高木家が所持した具足・諸色書物・掛物・腰物・小道具・夜具・召物・納戸・小道具などの売買・貸借に関わる史料である。近代の「邸内調度品書上帳」が一冊含まれるが、既整理分に見られた、道具類全体や特定品の全貌を示すような冊子は含まれておらず、ほとんどが書状・書付類である。

なお、今回整理したなかには、近世・近代を通じた能装束の貸借関係史料が見られた。また、大垣藩医・飯沼龍夫家との密接な交際を示す〔当主秘蔵時計の修理仲介により挨拶品頂戴につき礼状〕などにも注目しておきたい。

10 補 I・1・(6) (書状・書付・近世・その他)

この項目では、廃藩置県時までには作成された書状・書付類のうち、作成主体(幕府・高木家・他家・寺社公家・百姓町人など)が混在した一括文書を対象とし、整理番号四〇〜六四の四四八点を整理した。

時期的には、高木経貞・貞広の二代にわたるもので、嘉永三年(一八五〇)から明治三年(一八七〇)までの文書が含まれる。内容的には、前回の整理同様、多数の項目にわたるが、ここでは、いくつかまとまった点数が確認された項目についてのみ触れておきたい。

「幕府」関係では、幕末の政治情報入手するルートの一つとして、「関東筋不穏のところ大垣よりの別紙拝見の礼等につき書状」(四二九)など、大垣藩戸田家ルートが重要な位置をしめていたことを示す書状群がある。ほかに、「鶴多須陣屋伊藤一史郎より三輪為司へ関門一条で火急面談要請あるなどにつき書状」といった、尾張藩役人との緊密な関係をうかがわせるものも含まれている。

また、「軍事」関係では、幕末政情に呼応する形で、洋式銃の購入や大砲稽古に関する書状がまとまって出てきている。「明治」関係では、当主在京中の国元との交信に関わる書状群がある。

「財政」関係では、「知源亭(未詳)」による嘉永・安政期の借財勘定帳がまとまっているが、いづれも反故として半分は裁断されており、精査が必要である。このほか、「尾州内海伝十郎船へ積入の品江戸入

津見込通知につき書状」(五七)など、諸商人との取引関係史料も散見される。

「学芸」関係では、大垣藩医・飯沼愨斎からの「修理不快のところ自分持病のため明日参殿を約するにつき書状」や、尾張藩儒・秦鼎からの「所望により銅山鉱石三種送付の件通知及び含銀率の目安指南等につき書状」などの史料が加わっており、今後、高木家をめぐる文化的世界の広がりについても検討を進める必要があるだろう。

11 補 I・2・(1) (書状・書付・近代・一括)

この項目では、整理番号七〇〜一〇八四の一、一一一点を整理した。

今回整理した一括文書のうち、作成時期が特定できるのは、一八九四年(明治二七)から一九一七年(大正六)までで、一九〇〇年前後に一定のまとまりがみられた。当該期の当主高木貞正は、一八九四年に第三回衆議院議員選挙で当選するが(新たに、当選時に交わされた議員同士の祝賀葉書が整理されている)、その直後の解散により議席を失ったのちは、一九一三年(大正二)に村長に復するまで公職を離れている(一九二〇年没)。その関係でもあろう、内容的には、貞正の私的な書状・書付の控が目立つほか、都市生活者となった家族や親族間の交信、日常的な金銭出納に関する史料など、家政関係史料がその多くを占めている。

うち、書状類では、治水事業で知られる金森吉次郎との関係を示唆する史料(八六一)や成瀬・毛利・三浦といった旧幕時代からの親族との関係が確認できるほか、法要を通じた旧臣との交際内容(七五六など)などの興味深い史料も含まれている。

これらの一見雑多な書状や家政関係史料は、高木貞正「日記」(現存分は、一八七二年から一九〇八年まで)とつきあわせることで、生活史の復元など、様々な活用可能性が開けてくるものと期待される。

12 補 I・3・(1) (書状・書付・近世・近代・一括)

この項では、整理番号五六〜五九に、の一七三点を整理した。

本項目には、近世または近代に作成された書状・書付類のうち、高木家関係者によって一括整理されており、個々の文書の分類項目が多数に及ぶため既設分類項目で整理不能な文書が分類されている。

そのため、小項目では、郡長や学区取締、家計・農業など日(明治)を網羅したうえ、一五項目以上を含んでいる。詳細については、該当する各小項目の整理進捗にあわせ、別途紹介することとしたい。

今回整理された内容も、大項目B(支配)～H(明治)すべてに及

表1 高木貞勝氏所蔵文書(補遺)

整理番号	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
67 あ～す	木仏安置之節従本山坊官添状納其外書類	天保4年冬			状箱・包紙	13	
67 あ	[帰宗により融通繰合せの依頼あるも当節作事中ゆえ断るにつき書付写]	[天保4] 10月	松井典膳、川那部勘解由井上司書、笹岡将監	川添本務			
67 い	[帰宗により融通繰合せの依頼あるも当節作事中ゆえ断るにつき書付写]		松井典膳、川那部勘解由井上司書、笹岡将監	川添本務	切紙	1	67あ本紙
67 う	[大内蔵帰宗及び金談一件別紙写の通り承知願うにつき書状写]	[天保4] 10月5日	松井典膳 書判	大藏半之進			67し一休か
67 え	覚(来午戊酉年に金五十両取計いの通知書付)	[天保4] 10月	松井典膳(印)、川那部勘解由(印)、井上司書(印)、笹岡将監(印)	川添本務	切紙	1	
67 お	[門主懇命により帰宗ゆえ融通了承願うにつき書付]	巳(天保4) 10月	高木大内蔵使者・川添本務		切紙	1	
67 か	借用申金子之事(証文下書、金200両・月5朱利息)	年月日	(5名分の繰引き有)	小野善助	一紙	1	
67 き	[旧年上京時預りの往古返翰本紙返却につき副書]	正月5日	[松井] 典膳		切紙	1	
67 く	口上之覚(礼金五十両上納を約し浄徳寺余間昇進の執成し願うにつき書付下書)	2月	高木(大内蔵内)・川(添)	[川添]本務			
67 け	[旧冬聖教類送付のところに志納金千疋進上あるゆえ返礼につき奉書]	[天保5] 2月7日	川那部帯刀・嘉延? (花押)、下間式部卿法橋頼功(花押)	高木大内蔵	折紙、包紙、共	1	
67 こ	奉願上口上之覚(一統帰宗にあたり本山直末化望むゆえ執り成し願うにつき書状)	午(天保4) 2月9日	高木(大内蔵)内・川(添)印		切紙	1	
67 さ	[高木大内蔵家中の預け寺区分につき書付]		大橋唯願寺		切紙	1	川添の 奥添書あり
67 し	[同列方へ伝言願う等につき書付]				一紙	1	
67 す	[浄徳寺昇進の件は先年の拝借残金五十両返納後に掛合べき旨返答につき書付]						

表 2 高木家文書仮目録 (補遺・治水関係)

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	1	1			【治水・役儀・役儀】						
E	1	1	49		〔川通御用申合せにつき書付控〕				切紙	1	
E	1	1	50		〔川通御用勤筋心得之事〕		冠山		切紙	1	
E	1	1	51	あ〜き	御内用 (川筋惣奉行等内願につき願書控)		三和六左衛門	上	包紙	7	
E	1	1	51	あ〜う	御内願打大分追而相直可申事				包紙	3	
E	1	1	51	あ	〔美濃国中川筋惣奉行川々御普請御用拜命願書控〕		交代寄合高木修理		切紙	1	
E	1	1	51	い	〔川筋惣奉行等内願につき添願書控〕				切紙	1	
E	1	1	51	う	〔役儀内願につき添願書下書〕				切紙	1	
E	1	1	51	え	〔川筋惣奉行等内願につき添願書控〕				切紙	1	
E	1	1	51	お	〔役儀内願につき添願書〕				切紙	1	
E	1	1	51	か	〔他出のため進上につき書状〕			上	切紙	1	
E	1	1	51	き	〔美濃国中川筋惣奉行川々御普請御用拜命内願書下書〕		交代・寄合高木修理		切紙	1	
E	1	1	52		〔老中附紙への請書等につき用状写〕		大河原啓藏, 橋本周右衛門	酒井, 大藏, 三和, 立木, 杉村, 三輪	半横	1	
E	1	1	53		〔小川通り内願一件につき書状〕		三輪武左衛門房親		半縦	1	
E	1	1	54		〔小川通り出願の三家連署につき書状〕		三和六左衛門義故, 酒井春之丞忠則	三輪武左衛門	半縦	1	
E	1	1	55		〔川普請御用に伴う家中一統への振舞用意につき書付〕				切紙	1	
E	1	1	56		〔望みの役筋承知につき書状〕				切紙	1	
E	1	1	57		〔川筋御用勤書下書〕				切紙	1	
E	1	1	58	あ, い	〔川通持場復活願につき書状下書〕					2	
E	1	1	58	あ	〔書状下書〕				切紙	1	
E	1	1	58	い	〔書状下書〕				切紙	1	
E	1	1	59		〔小川筋を含め美濃國中奉行拜命内願につき書付〕				切紙	1	
E	1	1	60		〔川通御用持場縮小の訳合につき書付〕				切紙	1	
G	1	3	1877	お	〔御用の枝柿届けるにつき書状〕		亀屋伝右衛門	林曾治右衛門, 平塚太右衛門, 林宇内	切紙	1	
G	1	3	1877	か	〔相談の枝柿取寄せの札等につき書状〕		東北役人共	西役人中	切紙	1	
G	1	3	1877	く	〔勘定奉行肥田への音物枝柿代両所分送るにつき書状〕		東北役人共	西役人中	切紙	1	
G	1	3	1877	け	〔小川通引戻し願一件差下し時の箱代等勘定につき書状〕		東北役人共	西役人中	切紙	1	

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
G	1	3	1877	こ～し	〔亀屋柿代受取書付返信につき書状〕		東・北役人共	西役人中	切紙	3	
G	1	3	1877	こ	〔本紙〕		亀屋伝右衛門	林曾治右衛門、 平塚太右衛門、 林字内	切紙 包紙 共	1	
G	1	3	1877	さ	覚〔枝柿代金請取状〕						
G	1	3	1877	し	覚〔金銭勘定書付〕		大河原惣左衛門常安	酒井春之丞、 伊東幾右衛門	切紙	1	
H	1	1	313		〔上京参内のうえ間道守衛及び川通り取締役持命への祝詞につき執成し依頼状〕				折紙	1	
E	3	1			〔治水・普請見廻・普請見廻〕					1	
F	5	2	505	あ	〔堤普請大方出来の連絡等につき返書〕	12月22日	阿部豊後守忠秋	(高木権)右衛門	折紙	1	寛永10～寛文10、 当時阿部は老中
F	5	2	505	こ	〔機嫌伺い及び堤普請出来の連絡につき返書〕	12月22日	松平伊豆守(信綱)	高木権右衛門	折紙(裏 打あり)	1	信綱:寛永10年 10/18～老中
F	5	2	505	し	〔機嫌伺い及び堤普請出来の連絡につき返書〕	[12] 月22日	松平和泉守乗勝	(高)木権右衛門	折紙(裏 打あり)	1	
E	3	1	6525		〔国役堤普請実施のための簡条書写及び人足見積目録送る等につき書状〕	〔寛文12年〕 2月18日	杉田九郎兵衛直昌	高木新兵衛、高 木四郎左衛門、 高木藤兵衛	切紙	1	
E	3	1	6526		〔私領交人村堤普請首尾よく仰せ渡される祝詞につき書状〕	〔天和3年〕 12月13日	松平丹波守光永	高木新兵衛	折紙 包紙 共	1	光永は加納藩主
E	3	1	6604		〔先頃伝達の儀に關しての書付請け取るにつき奉書〕	3月26日	堀〔田〕下総守正仲、 阿〔部〕豊後守正武	高木新兵衛、 高木藤兵衛、 高木二郎兵衛	折紙 包紙 共	1	貞享元年カ
E	3	1	6608		〔国役普請御用中扶持方の老中証文等につき書状〕	〔宝永元年〕 8月8日	辻〔六郎〕左〔衛門〕 守〔参〕	高木五郎左衛門、 高木次郎兵衛、 高木富次郎	切紙	1	
E	3	1	6609		〔書付断簡〕	(享保16) 辛亥年6月	同国石津郡徳田村 名主・伊左衛門、 同五人組頭・善五 郎、同村百姓代・ 権九郎		一紙	1	(作成済み)同断・彦 八、御科辻甚次郎御 代官筋・澁州多気郡 有尾新田・津屋新田 ・喜兵衛、同村百姓 代・寛兵衛、同断・ 同断・同国同郡飯屋 村庄屋・七郎右衛門、 同断・孫九郎

E	3	1	6578	あ～い	〔書状〕																
E	3	1	6578	あ	〔油島新田地先大破に伴い自普請願うにつき取計い依頼状〕	3月21日	加藤友六、森田七右衛門	三和六左衛門、小寺勇、三輪孫六郎、山田清記、鈴木弥一右衛門、加藤養左衛門	切紙	1											
E	3	1	6578	い	〔結納の打合わせ等につき書状〕	〔寛保4年〕正月朔日	藤牧伊右衛門	三輪孫左衛門、松井勝之右衛門、原田嘉左衛門	切紙	1	朝(浅)：越前勝山藩から入興										
E	3	1	6610		〔瀧川小右衛門場所替りのため青木次郎九郎へ引渡し絵図付紙〕	〔延享3年8月〕			24.0×3.3	1											
E	3	1	6709		〔油島新田御手伝猿尾付近絵図〕				25.2×19.9	1	延享御手伝普請関係か										
E	3	1	6527	あ～か	〔書状〕					6											
E	3	1	6527	あ～い	〔笠松への附紙及び下書に関する伺につき返書〕		孫助、与次兵衛			2											
E	3	1	6527	あ	〔本紙〕	5月7日	与次〔兵衛〕	助左衛門	切紙	1											
E	3	1	6527	い	〔追啓〕		樋口茂兵衛昌信、齊藤林藏之盛	助〔左衛門〕	切紙	1											
E	3	1	6527	う	〔領分可児郡池田町屋村川通り石籠の儀に関し村方出頭するにつき取計い依頼状〕	〔宝暦3年〕5月17日		大嶽欽部右衛門、加藤頼之進、藤田治左衛門	折紙	1											
E	3	1	6527	え～お	〔領分村方庄屋出頭のため役所へ出頭するにつき取計い依頼状〕					2											
E	3	1	6527	え	〔書状〕	〔宝暦3年〕5月23日	鬼頭伝太夫義俊、土岐市右衛門頼喬	土屋頼左衛門、加藤頼之進、藤田治左衛門	切紙	1											
E	3	1	6527	お	〔書状〕	5月27日	鬼頭伝太夫義俊、土岐市右衛門頼喬	土屋頼左衛門、加藤頼之進、藤田治左衛門	切紙	1											
E	3	1	6527	か	〔支配所村方より川々普請願無き旨の書付取次ぐにつき書状〕	〔宝暦3年〕6月8日	野原藤左衛門政張	土屋頼左衛門、加藤頼之進、藤田治左衛門	切紙	1											
E	3	1	421		〔恙なく上着の祝詞等につき礼状〕	〔宝暦3年〕4月23日	竹腰山城守正武	高木新兵衛	折紙	1											
E	3	1	422		〔手製の早船進覧の礼につき返書〕	〔宝暦3年〕5月15日	竹腰山城守正武	高木新兵衛	折紙	1											

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6624		大垣領佐渡村組合九ヶ村願書一通絵図一枚入〔紙袋〕	西5月				1	宝暦3年?
F	5	2	353		〔時候見舞につき札状〕	〔宝暦3年〕6月	石河伊賀守〔光当〕	高木新兵衛	折紙	1	
E	3	1	6528		〔川通普請に関する存寄等につき書状〕	〔宝暦3年〕7月12日	林又左衛門秋親	高〔木〕新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6529		〔吉田久左衛門立会い目論見の件等につき書状〕		竹腰山城守正武	高木新兵衛	折紙	1	
E	3	1	6678		〔大樽川堰普請等につき書状断簡〕		〔竹腰山城守正武〕	〔高木新兵衛〕	切紙	1	前・後欠、宝暦3年?
E	3	1	6611		〔手伝普請御用のため四月中参府断りの件等につき書状断簡〕	〔宝暦4年3月〕			美横	1	
E	3	1	6530		〔雨天のため海松新田豊喰新田両普請所取り掛り難きにつき届〕	〔宝暦4年〕4月6日	松平薩摩守内小奉行・平田長兵衛	高木新兵衛・用人衆	切紙	1	
E	3	1	6531		〔絵図九枚受け取る等につき書状〕	〔宝暦4年〕4月11日	宮〔川〕小十郎	〔高木〕新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6532	あ～す	〔書類綴〕					13	
E	3	1	6532	あ	〔江下絵図及び浚場絵図等送るにつき書付〕	〔宝暦4年〕4月14日	名和代右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	い	〔堀橋田絵図送る等につき書付〕	22日	林藏	〔松井〕徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	う	〔石野三次郎江下帳直等送るにつき書状〕	4月23日	米倉幸内	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	え	〔絵図帳面一件持たせる等につき書状〕	4月26日	松村平右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	お	〔江下普請入用書付に関する連絡承知する等につき書状〕	3月15日	米倉幸内、松村平右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	か	〔雛形絵図の修正等につき追啓〕	19日			切紙	1	
E	3	1	6532	き	覚〔水行帳等冊子本書上げ〕				切紙	1	
E	3	1	6532	く	〔小藪堀上田畑帳清書送るにつき書付〕	4月22日	村田善藏	三輪孫左衛門、	切紙	3	
E	3	1	6532	け	〔分間取掛りにつき書状〕	4月12日	林数右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	こ	〔検俣村書付等書付二通送るにつき書状〕	3月朔日	松村平右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	さ	〔病気のため武右衛門方へ届けるべき諸帳面返上するにつき書状〕	4月26日	松村平右衛門	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	し		4月18日	原田儀兵衛	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532	す	〔三柳村立籠の件で明朝伺公する等につき書状〕	4月23日	徳川運四郎、米倉幸内	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6532		〔出来の帳面送るにつき書状〕	〔宝暦4年〕4月22日	青木次郎九郎	松井徳右衛門	切紙	1	
E	3	1	6505		〔内藤十左衛門切腹につき書状〕	〔宝暦4年〕4月22日		高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6506		〔四月二十二日付青木書状返書下書〕	〔宝暦4年〕戊4月22日			切紙	1	
E	3	1	6507		覚〔内藤十左衛門荷物受取状下書〕	〔宝暦4年〕戊4月22日		青木次郎九郎堤方役人、野村弁右衛門	切紙	1	

E	3	1	6508		内藤十左衛門切腹二付死骸改覚						切紙	1	
E	3	1	6503	あゝた	〔内藤十左衛門切腹関係書類〕	〔宝暦4年〕 戊4月22日						16	
E	3	1	6503	あ	〔五明村参着に際し書状〕	〔宝暦4年〕 4月22日	赤尾利左衛門	小櫃峯右衛門			半横	1	
E	3	1	6503	いゝえ	口書 三通						包紙	3	
E	3	1	6503	い	口上書(切腹の事情につき口上書写)	〔宝暦4年〕 戊4月22日	高木新兵衛家来・内藤十左衛門				切紙	1	
E	3	1	6503	う	〔内藤十左衛門一件につき上申書写〕	〔宝暦4年〕 戊4月25日	内藤十左衛門二付添候 竿取足軽・大嶽普右衛門、内藤十左衛門小者・兵五郎	赤尾利左衛門			切紙	1	
E	3	1	6503	え	〔家来内藤十左衛門切腹につき届書写〕						切紙	1	
E	3	1	6503	お	〔内藤十左衛門切腹につき届書〕	〔宝暦4年〕 4月23日	高木新兵衛	石野三次郎、大久保 荒之助、浅野左膳、 新見又四郎			切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6503	か	〔内藤十左衛門切腹につき引替え届書控〕	〔宝暦4年〕 4月23日	高木新兵衛	石野三次郎、大久保 荒之助、浅野左膳、 新見又四郎			切紙	1	
E	3	1	6503	き	〔死骸引取時の渡し船取計い願等につき奉書〕	〔宝暦4年〕 4月23日	赤尾利左衛門	小櫃峯右衛門			切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6503	く	〔家来呼出し等につき奉書〕	〔宝暦4年〕 4月24日	小櫃峯右衛門	赤尾利左衛門			切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6503	け	〔中和泉新田与次兵衛吟味の件届け出につき奉書〕	〔宝暦4年〕 4月25日	土屋瀬左衛門、 原田嘉左衛門	赤尾利左衛門、山 本要助、小寺牧太 共			切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6503	こ	〔内藤十左衛門切腹一件につき達書下書〕	〔宝暦4年〕 4月28日		一色周防守			切紙	1	
E	3	1	6503	さゝす	〔内藤十左衛門の治療につき関係書類〕							3	
E	3	1	6503	さ	口演 (藥料受取状)	〔宝暦4年〕 4月29日	加路戸新田・林養伯	三輪大右衛門			切紙	1	
E	3	1	6503	し	〔内藤十左衛門治療の礼金につき返礼状〕	〔宝暦4年〕 4月29日	山口甫慶信恭、 山口甫仙貞賢	原田嘉左衛門			折紙	1	
E	3	1	6503	す	〔内藤十左衛門治療の礼金への返礼等につき書状〕	〔宝暦4年〕 4月29日	山口甫慶信恭、 山口甫仙貞賢	原田嘉左衛門			折紙	1	

大	中	小	番	枝	標	題	年	代	作	成	宛	名	形	態	数	量	摘	要
E	3	1	6503	せ		覚(内藤十左衛門切腹に申し分無きにつき一札)	[宝暦4年]	戊4月	五明村□□(住屋)、 同村年寄		高木新兵衛内・ 役人		切紙 包紙 共	1				
E	3	1	6503	そ		[内藤十左衛門切腹一件届書を相模守へ提出につき書状]	[宝暦4年]	5月7日	一色周防守		高木新兵衛		切紙 包紙 共	1				
E	3	1	6503	た		[福崎新田和泉新田中和泉新田舟人足付]			[内藤十左衛門]				切紙 包紙 共	1				
E	3	1	6504			[内藤十左衛門自刃につき諸事書付]	[宝暦4年]	4月					切紙	1				
E	3	1	6509	あ～え		高木新兵衛殿ら最初被指届書 式四通							包紙	4				
E	3	1	6509	あ		[内藤十左衛門切腹につき届書下書]	[宝暦4年]	4月23日	高木新兵衛				切紙	1				
E	3	1	6509	い		[内藤十左衛門切腹につき届書控]	[宝暦4年]	4月23日	高木新兵衛				切紙	1				
E	3	1	6509	う		[内藤十左衛門一件につき上申書]	[宝暦4年]	戊4月25日	内藤十左衛門二付添候 竿取足軽・大嶽善右衛 門、内藤十左衛門小者 ・兵五郎		赤尾利左衛門		切紙	1				
E	3	1	6509	え		[内藤十左衛門一件につき上申書]	[宝暦4年]	戊4月25日	内藤十左衛門二付添候 竿取足軽・大嶽善右衛 門、内藤十左衛門小者 ・兵五郎		赤尾利左衛門		切紙	1				
E	3	1	6522			[内藤十左衛門切腹につき届書下書]							切紙	1				
E	3	1	6510			[内藤十左衛門切腹につき二十二日付書状返書]	[宝暦4年]	4月23日	大久保荒之助		高木新兵衛		切紙	1				
E	3	1	6511			[内藤十左衛門切腹につき引替え届書]	[宝暦4年]	4月23日	高木新兵衛				切紙	1				(端裏書)「大久保氏占四月廿六日引替致候書付」
E	3	1	6512			[内藤十左衛門一件の扱ひにつき書状]	[宝暦4年]	4月23日	三輪代右衛門、 赤尾利左衛門		原田嘉左衛門		切紙	1				
E	3	1	6513			[十左衛門切腹届書引替えにつき書状]	[宝暦4年]	4月24日	[赤尾]利左衛門		[原田]嘉左衛門		切紙	1				
E	3	1	6514			[吟味口書下書]	[宝暦4年]	戊4月24日	五明村・彦八		高木新兵衛内・ 赤尾利左衛門		一紙	1				(奥書作成)五明村庄屋・彦三郎、同村年寄・源七

E	3	1	6515		[内藤十左衛門死骸引取につき達書下書]	[宝暦4年] 4月24日		目付四人	切紙	1	
E	3	1	6516		覚[内藤十左衛門死骸移送添触下書]	[宝暦4年] 戌4月24日	高木新兵衛内・ 赤尾利左衛門	五明村と先々美濃 十五条村迄・村々 庄屋中	折紙	1	
E	3	1	6517		[内藤十左衛門死骸引取りの取計い等につき書状]	[宝暦4年] 4月24日	赤尾利左衛門	原田嘉左衛門	切紙	1	
E	3	1	6533	あ〜か	[書状綴]					6	
E	3	1	6533	あ	[二ノ手派遣の家来一件につき別啓]	[宝暦4年] 4月24日	[吉田] 久左衛門	[高木] 新兵衛	切紙	1	内藤十左衛門 一件関係
E	3	1	6533	い	[御普請目論見替帳請け取るにつき書状]	4月24日	吉田久左衛門	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6533	う	[七郷輪中堀割新川の件等につき書状]	4月24日	高木内膳	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6533	え	[夏中普請の有無を一色へ連名で尋ねるにつき書状]	4月25日	高木玄蕃、高木内 膳	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6533	お	[二之手定式急破御普請出来に伴う届につき書状]	4月25日	青木次郎九郎	高木新兵衛、 高木内膳、 高木玄蕃	切紙	1	後欠
E	3	1	6533	か	[三之手助けの場所普請出来の届けにつき書状]	4月26日	石野三次郎	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6614		[夏中普請有無の照会文面につき付札]	[宝暦4年]			16.0 ×15.3	1	
E	3	1	6523	あ〜い	[書付下書]					2	
E	3	1	6523	あ	[内藤十左衛門一件につき上申書下書]				切紙	1	
E	3	1	6523	い	[内藤十左衛門一件につき上申書下書]				切紙	1	
E	3	1	6518	あ〜い	[上申書断簡]					2	
E	3	1	6518	あ	[内藤十左衛門一件につき上申書]	[宝暦4年] 戌4月25日]			切紙	1	前・後欠
E	3	1	6518	い	[内藤十左衛門一件につき上申書]	[宝暦4年] 戌4月25日]			切紙	1	前・後欠
E	3	1	6534	あ〜え	[書類綴]			高木新兵衛、		4	
E	3	1	6534	あ	[七郷新川堀割りの件書違ひある等につき書状]	[宝暦4年] 4月25日	吉田久左衛門、 青木次郎九郎	高木内膳、 高木玄蕃	切紙	1	
E	3	1	6534	い	[次郎九郎及び久左衛門よりの返答を横曽根へ順達する等につき書状]	4月26日			切紙	1	
E	3	1	6534	う	[急用のため一封村継ぎ指示書付]	4月26日	山田元左衛門	横曽根村、大蔵村、 石田村、前野村、 村々庄屋中	切紙	1	
E	3	1	6534	え	[書状一通進上につき依頼書付]	4月26日	山田元左衛門	原田嘉左衛門	切紙	1	
E	3	1	6519		[内藤十左衛門一件の取扱いにつき書状]	[宝暦4] 4月26日	青木次郎九郎	高木新兵衛	切紙	1	

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6520		覚(米代木銭受取状)	[宝暦4] 戊4月26日	桑名郡和泉新田彦三郎	赤尾利左衛門	切紙	1	
E	3	1	6535	あ～う	[書状綴]					3	
E	3	1	6535	あ	[青木次郎九郎連状への返報依頼等につき書状]	[宝暦4年] 4月26日	高木内膳	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6535	い	[玄蕃より送付の連名切紙及び次郎九郎・久左衛門連署状書抜き順達する等につき書状]	4月26日	高木内膳	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6535	う	[来る二十九日寄合の件につき追啓]	4月26日	内膳	新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6536	あ～お	[書類綴]					5	
E	3	1	6536	あ	[夏中普請有無の件に関する返答につき次郎九郎口上書付]	[宝暦4年4月27日]			切紙	1	
E	3	1	6536	い	[油島下目論見替え尋問のため家来等寄合につき連絡依頼状]	[宝暦4年] 4月27日	吉田久左衛門	高木新兵衛、 高木内膳、 高木玄蕃	切紙	1	
E	3	1	6536	う	[青木次郎九郎・吉田久左衛門連名切紙等送るにつき書状]	4月27日	高木玄蕃	高木新兵衛、 高木内膳	切紙	1	
E	3	1	6536	え	[青木次郎九郎よりの村継書状送る等につき依頼状]	4月26日	高木玄蕃	高木新兵衛、 高木内膳	切紙	1	
E	3	1	6536	お	[福束輪中定式普請出来の件承知する等につき書状]	4月27日	吉田久左衛門、 青木次郎九郎	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6521		覚(内藤十左衛門死散送付人足賃請取状)	[宝暦4年] 戊4月	五明村庄屋・彦三郎	赤尾利左衛門	一紙	1	
E	3	1	6680		[内藤十左衛門関連書状断簡]					1	後欠
E	3	1	6537		[昨晚到着に対する挨拶につき書状]	[宝暦4年] 9月2日	吉田久左衛門	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6612		[長島輪中村々惣代出願への処置につき書状写断簡]	[宝暦4年] 11月5日	一色□(周)防守	高木新兵衛、高木内膳、高木玄蕃、 青木次郎九郎、吉田久左衛門	切紙	1	
E	3	1	6613		[長島輪中村々惣代出願への処置につき書状控断簡]	[宝暦4年]	[吉田久左衛門、青木次郎九郎、高木内膳、高木新兵衛]	[一色周防守]	半縦	1	
E	3	1	6622		[番方への寒中及び年始勤め方問う等につき書状]	[宝暦4年] 12月朔日	高木玄蕃	高木新兵衛、 高木内膳	半縦	1	
E	3	1	6539		[多良よりの水縄早々の送付依頼する等につき書状]	[宝暦4年] 12月10日	井口善大夫	三輪孫左衛門	切紙	1	
G	3	1	776		[借入金の際及び西美濃水場の儀等につき返書]	[宝暦5年] 11月27日	竹腰山城守正	高木新兵衛	切紙	1	

E	3	1	6615		宝暦五年太田新田坂先願書絵図〔包紙〕						1		後欠
E	3	1	6681		〔二ノ手見分に出向願う等につき書状断簡〕						1		後欠
E	3	1	6682		〔河代官連名取計らいにつき書状下書断簡〕						1		前欠
E	3	1	6683		〔清右衛門への御用状返答依頼する等につき書状断簡〕		山田元左衛門、 加藤要左衛門	土屋瀨左衛門			1		後欠
E	3	1	6684		〔村々組合取繕箇所付及び村割大積り承知につき書状断簡〕						1		前・後欠
E	3	1	6685		〔左源次在宿中に長島土取場懸廻し場所見分頼む等につき書状断簡〕						1		後欠
E	3	1	6686		〔連名状及び内膳一名状送るにつき書状断簡〕						1		後欠
E	3	1	6687		〔取払い跡不埒の扱ひ等につき書状断簡〕						1		前・後欠
E	3	1	6688		〔御用場所へ不出向等につき書状断簡〕						1		前欠
E	3	1	6689		〔在外の大御用等につき書状断簡〕						1		前・後欠
E	3	1	6690		〔中村関連争論への対処につき書状下書断簡〕						1		前・後欠
E	3	1	6691		〔書状断簡〕		石野三次郎	高木新兵衛			1		後欠
E	3	1	6692		〔書状断簡〕			高木新兵衛、 宮河小十郎			1		前欠
E	3	1	6693		〔書状断簡〕		石野三次郎	高木新兵衛			1		後欠
E	3	1	6694		〔川通御用書類下書断簡〕		三和六左衛門、 小寺勇	平塚武左衛門、 鈴木弥一右衛門、 加藤養左衛門			1		前欠
E	3	1	6695		〔断簡〕		石野三次郎	高木新兵衛			1		後欠
E	3	1	6587		〔大樽川御手伝堰修繕目論見につき書状断簡〕	7月18日	竹腰山城守正武	高木新兵衛			1		前欠、宝暦5～7年
E	3	1	6616		〔大樽川自普請積帳出来し村々呼び出すための出向依頼につき奉書〕	〔宝暦6年〕8月6日	中島所左衛門、 小箱丹助	土屋瀨左衛門、 藤田治左衛門			1		
E	3	1	6540		〔大樽川自普請への助力願うにつき書状〕	〔宝暦7年〕正月9日	竹腰山城守正武	高木新兵衛			1		
E	3	1	6538		〔大樽川普請に関する存寄等につき書状〕	〔宝暦7年〕臘月5日	竹腰山城守正武	高木新兵衛			1		
G	3	1	774	あ～い	〔借用金返済方及び石田八神油嶋の儀につき返書〕						2		
G	3	1	774	あ	〔本紙〕	〔宝暦10年〕10月23日	林又左衛門秋親	高〔木〕新兵衛			1		
G	3	1	774	い	〔封印〕						1		
G	3	1	947		〔借用金返済方取扱い及び石田八神の儀につき書状〕	〔宝暦10年〕12月3日	林又左衛門	高〔木〕新兵衛			1		
E	3	1	6541	あ～い	〔濃州国役普請出来後の見廻り終了の届け出等につき書状〕						2		

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6541	あ	[本紙] [届書提出先の問合せにつき奉書]	[宝暦10年]12月25日 [宝暦10年]12月23日	藤牧伊右衛門 樋口源左衛門、 飯塚市大夫	松井周右衛門 藤牧伊右衛門	切紙 切紙	1 1	
F	10	1	884		[縁談延引ゆえ江戸表への引合の件及び築廻しば堤防 立会い見分の件並びに山崎貞七申出の請一件につき 書状]	[明和2年] 11月21日	(長島)石博左源司	土屋瀨左衛門	切紙	1	
E	3	1	6542		[天明三年堀津村国役普請仕上帳奥書字]	天明3年卯3月	高木千之助家来・藤 田与次兵衛、高木監 物家来・加藤津大夫、 高木修理家来・土屋 甚五兵衛、堤方役・ 野村弁右衛門	勘定所	切紙	1	
E	3	1	6543		御直御口上之覚 (川々普請見廻り御用命ぜらる札に つき口上書付)	寛政10戊午年 12月29日			切紙 包紙共	1	
E	3	1	6544	あ〜う	[濃州中島郡堀津村国役普請に際し見廻り御用なきた め書状提出指示につき書類]					3	
E	3	1	6544	あ	[江戸留守居宛用状控]	[寛政11年]10月15日	鈴木弥一右衛門、藤田 与次兵衛、小寺助左衛 門、土屋舎人	土屋庄大夫、 関根助右衛門	半縦	1	
E	3	1	6544	い	[重ねて持場内普請の際には見廻御用仰せ付けられた きにつき書付控]	10月	高木修理、高木中 務、高木大次郎		切紙	1	
E	3	1	6544	う	[富田定之進花押札]				14.5× 4.8	1	
E	3	1	6545		[国役普請見廻り御用受命に際する勘定奉行宛口上に つき伺書]	[寛政11年]未11月6日			切紙	1	
E	3	1	6546		[国役普請見廻御用につき普請控]	[寛政11年11月]	[高木修理]		切紙	1	
D	2	1	222		[濃州勢州川々普請見廻御用のため参府につき伺書]	[文化3年] 3月6日	高木修理、高木藤 兵衛、高木大次郎		切紙	1	
F	5	2	511	ら	[土用入りに際する機嫌伺い及び佐屋川筋普請見廻り 御用拜命の連絡につき返書]	[文化10年] 閏6月2日	小笠原三九郎長盈	高 [木] 修理	折紙	1	

E	3	1	6547		文化十二乙亥年十一月廿八日高田江向差出條御見廻御用被為蒙仰候段申來候而留守居江三御家老と之返報之稿	11月27日	加藤孫助、川添専左衛門、小寺牧太、御暖中二付無判・土屋舎人	吉田弾八、吉田四郎兵衛、関根惣右衛門	切紙	1	
E	3	1	6617		〔村継指示廻狀断簡〕	〔文政12年5月〕		牧田村・多良村、右村々庄屋、年寄、百姓代	切紙	1	前欠
E	3	1	6548		〔尾州領中村願地立会い見分の日限につき返書〕	〔天保2年〕8月9日	野田奔吉	高木修理、高木玄蕃、高木内蔵	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6549		〔扶持米の件伺いの仕様問合せにつき返書〕	〔天保2年〕11月27日	星野又右衛門	山田十郎兵衛、加藤加藤太、三和六左衛門	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6550		〔扶持米の件伺いの仕様問合せにつき返書〕	〔天保2年〕12月4日	星野又右衛門	山田十郎兵衛、加藤加藤太、三和六左衛門	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6551	あ～い	〔濃州中村田廻外掛廻し願場所築き方裁許につき書狀〕				包紙	2	
E	3	1	6551	あ	〔挨拶品につき礼状控〕	〔天保2年〕12月22日	名	鳥居五兵衛、碓氷清八郎、奥平勘之右衛門、細井三左衛門	切紙	1	
E	3	1	6551	い	〔挨拶品への礼状につき返書〕	12月26日	佐藤源左衛門嘉忠	高木修理	折紙	1	
G	3	1	1174	い	〔渡辺半十郎より出願への挨拶届く等につき書狀〕	11月8日	橋本周右衛門、三輪忠右衛門	大嶽半之進	切紙	1	中村論所見分、天保2・9頃か？
E	3	1	6552		〔濃州中村願場所落着に際する成瀬隼人正挨拶料につき礼状控〕	〔天保3年正月28日〕			半横	1	
E	3	1	6553		〔濃州中村願場所落着の挨拶料への礼状につき返書〕	〔天保3年〕2月朔日	笹岡文五右衛門永盛、山岡右門重長、永井八右衛門守尚、分部伝八郎長好	三和六左衛門、加藤加藤太、山田十郎兵衛	折紙 包紙 共	1	〔作成続き〕中川三九郎増徳、鳥居重左衛門重礼、神尾源六重矩
D	1	3	352		〔代替り一件書類調査及び普請見廻り御用中の扶持米につき奉書〕	〔天保7年〕10月21日	平塚恒左衛門昭易、杉村孫藏照苗、立木善左衛門友信、三和六左衛門義故	橋本周右衛門、大河原惣左衛門	半縦	1	〔作成続き〕大嶽半之進久尚、酒井春之丞忠則
E	3	1	6554	あ～え	〔書類〕					4	

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6554	あ	[大垣領村々より安八郡中村田堤取払い願う件につき書付]	[天保8年] 7月			切紙	1	
E	3	1	6554	い	覚(酒等代金請取書)	卯11月朔日	木屋伝右衛門	三輪、加藤、山田	折紙	1	
E	3	1	6554	う	覚(代金請取書)	11月9日	井筒屋又七	木屋伝右衛門	切紙	1	
E	3	1	6554	え	[川通御用等につき書状]	11月16日	加藤加藤太、 山田十郎兵衛	三和六左衛門	切紙	1	
F	10	2	51	く	[普請御用による参府御免の通知への返礼につき奉書]	[天保9年] 4月9日	黒川所大夫政方	三和六左衛門、伊藤幾右衛門、小寺勘兵衛、大藏要人	切紙	1	
E	3	1	6605		[川通御用日記断簡]	[天保9年8月朔日～8月4日]			半横半	1	
E	3	1	6585		[福東輪中の件等につき書状返書]	閏4月朔日	棚橋彌十郎	三和六左衛門	切紙 包紙 共	2	天保9/嘉永2?
E	3	1	6555	あ～お	[川通り水行薄らぎ方の件内談につき書類]					5	
E	3	1	6555	あ	[内談のため龍宝院参上の連絡につき依頼状下書]	[弘化3年10月6日]	[三和六左衛門]		半横	1	
E	3	1	6555	い～う	[龍宝院との内々面会承知につき書状]				包紙	2	
E	3	1	6555	い	[本紙]	10月	増田鉄之進、 山田順藏	三和六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6555	う	[山田弘之進の改名につき追啓]	10月11日			切紙	1	
E	3	1	6555	え～お	[来る二十日前後に面会の件につき書状]				包紙	2	
E	3	1	6555	え	[同節呼出しの模様尋ねるにつき書状]	10月16日	増田鉄之進、林鉄五郎、山田順藏	三和六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6555	お	[内考中につき返書下書]	10月16日	三和六左衛門	山田順藏、 林鉄五郎、 増田鉄之進	折紙	1	
E	3	1	6618	あ～け	要用書	嘉永7寅年6月6日			包紙	9	桑名藩による内田忠藏からの白鷲新田買取り交渉関連
E	3	1	6618	あ～え	[小寺武兵衛宛桑原応助返答書]				包紙	4	
E	3	1	6618	あ	[別紙勘弁書の取成し依頼する等につき書状]	3月25日	桑原応助	小寺武兵衛	切紙	1	
E	3	1	6618	い	[内田忠藏の支配役所につき書付]				切紙	1	
E	3	1	6618	う	御請取之事(出府下用銀等内金預書)	寅3月	桑原応助	小寺武兵衛	切紙	1	

E	3	1	6618	え	覚(熱田六角堂から伊藤屋仁兵衛へ依頼の様様等につき書状)	3月	桑原応助	小寺武兵衛	切紙	1	
E	3	1	6618	お	[尾張より今日帰宅する等につき書状]	4月2日	桑原応助	小寺武兵衛	切紙	1	
E	3	1	6618	か〜き	[書状]					2	
E	3	1	6618	か	[桑名表出張につき書状]	4月5日	桑原応助	手塚忠四郎	切紙	1	
E	3	1	6618	き	[桑名表宿泊所につき追啓]	4月5日	桑原	手塚	切紙	1	
E	3	1	6618	く〜け	[小寺武兵衛宛桑原応助書状]				包紙	2	
E	3	1	6618	く	[尾張より今日帰宅のため参殿などの指図願むにつき書状]	4月12日	桑原応助	小寺武兵衛	切紙	1	
E	3	1	6618	け	覚(内田忠蔵方での白鷄新田に関する申し分等につき書状)	[4月]12日	[桑原]応助	[小寺]武兵衛	切紙	1	
E	3	1	6556		[堀津村国役普請に伴う見廻り指示及び拝領屋敷下賜につき請書控留]	[安政2年9月~3月5日]	[高木修理]		切紙	1	
E	3	1	6564		[堀津村国役普請所見分終了の届け出指示につき書状]	[安政2年]10月23日	小寺勇雄飛、三和六左衛門義故	三輪武左衛門	半縦	1	
E	3	1	6557		[国役普請等の御用に対する請書提出の指示につき奉書]	[安政4年]6月晦日	鈴木弥一右衛門義兼、白井今右衛門光智、稲葉権之進教正	三輪武左右衛門、大河原惣左衛門、大河原啓蔵	半縦	1	(作成疏き)三和六左衛門義故、酒井春之丞忠則
E	3	1	6558	あ〜え	[国役普請等の御用に対する請書提出の指示につき書類]					4	
E	3	1	6558	あ	[奉書]	[安政4年]9月16日	稲葉権之進教正、三和六左衛門義故、酒井春之丞忠則	三輪武左右衛門、大河原惣左衛門、大河原啓蔵	半縦	1	
E	3	1	6558	い	[堀津村枝郷須賀国役普請見分御用のため内慮伺につき奉書]	9月16日	稲葉権之進教正、三和六左衛門義故、酒井春之丞忠則	三輪武左右衛門、大河原惣左衛門、大河原啓蔵	半縦	1	
E	3	1	6558	う	[老中・大目付・勘定奉行宛請書等雜形]	9月			半縦	1	
E	3	1	6558	え	[国書助死去の仲断るにつき書状控]	9月10日	[高木内蔵、高木修理]		半縦	1	
E	3	1	6559	あ〜う	[書状]					3	
E	3	1	6559	あ	[国書助死去の折柄普請所見廻り御用に関し寢書提出するにつき書状]	[安政4年]9月18日	大河原啓蔵、大河原惣左衛門、三輪武左衛門	酒井春之丞、三和六左衛門、稲葉権之進、白井今右衛門、鈴木弥一右衛門	半縦 包紙 共	1	
E	3	1	6559	い〜う	[脇坂中務大輔引渡しのため京都へ発足の件につき書状]				包紙	2	

大	中	小	番	枝	標	題	年	代	作	成	宛	名	形	態	数	量	摘	要
E	3	1	6559	い	[本紙]		[安政4年]	10月18日	大河原啓藏常富、大河 原惣左衛門常富、三輪 武左衛門房親	三和六左衛門、 稲葉権之進	半縦	1						
E	3	1	6559	う	[返書控]		11月16日	稲葉権之進、 三和六左衛門、 酒井春之丞	三輪武左衛門、 大河原惣左衛門、 大河原啓藏	西・東家老	半縦	1						
E	3	1	6560		[堀津村枝郷須加国役普請所見分御用のため内慮何に つき用状写]		[安政4年]	10月2日	三名		半縦	1						
E	3	1	6561		[堀津村枝郷須賀国役普請所見分終了の届出指示につ き奉書]		[安政4年]	10月11日	小寺勇雄飛、 三和六左衛門義故	三輪武左衛門	半縦	1						
E	3	1	6562		[堀津村国役普請所見分の届出指示につき奉書]		[安政4年]	10月20日	加藤養左衛門重敬、鈴 木弥一右衛門兼好、平 塚武左衛門忠誠	三輪武左衛門、 大河原惣左衛門、 大河原啓藏	半縦	1					(作成誌き)小寺勇飛 雄、三和六左衛門義 故	
E	3	1	6563		[普請見分の届け出等につき書状]		[安政4年]	10月20日			半縦	1						
E	3	1	6565		[国役普請所見廻御用中の扶持米受取につき奉書]		[安政4年]	11月5日	加藤養左衛門重敬、鈴 木弥一右衛門兼好、平 塚武左衛門忠誠	三輪武左衛門、 大河原惣左衛門、 大河原啓藏	半縦	1					(作成誌き)小寺勇飛 雄、三和六左衛門義 故	
E	3	1	6566		[堀津村枝郷須賀国役普請所出来届提出の指示につ き奉書]		[安政4年]	11月12日	平塚武左衛門忠誠、小 寺勇飛雄、三和六左衛 門義故	三輪武左衛門、 大河原惣左衛門、 大河原啓藏	22.2× 15.5	1						
E	3	1	6567		[図書之助死去のため請書等の先例調査願うにつき書 状下書]		[安政4年]				折紙	1						
E	3	1	6568	あ～い	[羽根野立会い普請出来に際し采女正時服拜領等の 連絡につき書類]						包紙	2						
E	3	1	6568	あ	[連絡につき執成し依頼状]		[安政5年]	3月晦日	井上莊次郎、小林儀右 衛門、塩川忠次郎、中 西彦左衛門	三輪六左衛門、小寺 勇、平塚武左衛門、 鈴木弥一右衛門、加 藤養左衛門	切紙	1						
E	3	1	6568	い	[連絡の返れにつき奉書下書]			3月29日	加藤養左衛門、鈴木弥 一右衛門、平塚武左衛 門、小寺勇、三和六左 衛門	中西彦左衛門、 塩川忠次郎、 小林誠右衛門、 井上莊次郎	切紙	1						

D	2	1	229		[澁州栗栗郡村々国役普請見分御用のため参府伺書提出につき奉書]	[安政5年] 2月19日	鈴木弥一右衛門兼好、白井今右衛門光智、稲葉権之進教正	三輪武左衛門、大河原惣左衛門、大河原啓藏	半縦	1	(作成統き)三和六左衛門義故、酒井春之丞忠則
D	2	1	230		[木曾川通り国役普請所見廻御用のため参府免許につき用状返書重帳]	[自安政5年4月10日 至4月16日]			半縦	1	
D	2	1	231		[木曾川通り国役普請見廻御用のため参府免許につき奉書控]	[自安政5年4月10日 至5月15日]	鈴木弥一右衛門兼好、白井今右衛門光智、稲葉権之進教正、酒井春之丞	三輪武左衛門、大河原惣左衛門、大河原啓藏	半縦	1	
D	2	1	232		[当年及び来年の参府免許につき用状返事]	[安政5年] 5月15日	鈴木弥一右衛門兼好、白井今右衛門光智、稲葉権之進教正	三輪武左衛門、大河原惣左衛門、大河原啓藏	半縦	1	
E	3	1	6569		[大川通取払い場見分につき先触下書断簡]	[安政5年] 午11月18日	源録新田御用先三和六左衛門、野々村弁十郎	五明村、又右衛門新田、船頭平村、福原新田、福原村、他三十八ヶ所村村々役人中	切紙	1	前欠
E	3	1	6570	あ~い	[国役普請見廻御用に際する扶持方につき書類]					2	
E	3	1	6570	あ	[江戸留守居用状写]	[万延元年] 閏3月27日	三輪武左衛門	酒井、三和	一紙	1	
E	3	1	6570	い	[去る巳年提出の書面写望むにつき書状]	[万延元年] 閏3月22日	岩田敏三郎役所・若林養大夫、村上令左衛門	高木修理内・詰合中	切紙	1	
E	3	1	6571	あ~い	[川々普請に際し持場見廻り命ぜられるにつき用状返書]				封筒	2	
E	3	1	6571	あ	[請書提出の件等につき書状]	[万延2年] 正月27日	白井今右衛門光智、稲葉権之心教正、三和六左衛門義故、酒井春之丞忠則	三輪武左衛門、大河原惣左衛門、大河原啓藏	半縦	1	
E	3	1	6571	い	[久世大和守等への請書につき下書]	[正月27日]			半縦	1	
E	3	1	6619	あ~う	[川々普請の様子笠松表へ問合せ等出役中諸雜用勘定書]					3	
E	3	1	6619	あ	覚	[文久元年] 酉2月	鈴木弥一右衛門、平塚武左衛門、三和六左衛門	三輪孫六郎、渡辺佐次右衛門	切紙	1	

大	中	小	番	枝	標	題	年	代	作	成	宛	名	形	態	数	量	摘	要
E	3	1	6619	い	覚		[文久元年] 酉2月		鈴木弥一右衛門、 平塚武左衛門、 三和六左衛門		藤田与三左衛門		切紙		1			
E	3	1	6619	う	覚		[文久元年] 酉2月		鈴木弥一右衛門、 平塚武左衛門、 三和六左衛門		立本新八郎		切紙		1			
E	3	1	6620			[家督後川通持場見置きのため出郷時挨拶への返れにつき奉書]	[文久元年]10月16日		小串右門、高橋宇右衛門、 奥田忠蔵、中西新八郎、高田十尋		伊東幾右衛門、小寺勇、 三輪孫六郎、渡辺佐次右衛門		切紙		1		兵部少輔(近江守) 家来	
E	3	1	6572			[戸田采女正使者黒川所太夫名札]	[文久2年3月14日]						13.8× 5.0		1			
E	3	1	6621			[達三郎家督後の川通持場見分に十八日出発の通知につき奉書]	[慶応元年] 4月16日		山田清記		三和六左衛門、 小寺勇、三輪孫六郎		切紙		1			
D	2	1	246			寢書 [濃州勢州川々普請所見廻御用勤めるため参府につき伺書]	[慶應2年] 4月11日		高木弾正、高木監物、 高木達三郎				切紙 包紙 共		1			
G	3	1	1113			[川通御用後の笠松からの拝借金に際し証文送付願うにつき書状]	丑5月20日		三和六左衛門		大嶽半之進、 伊藤幾右衛門		切紙 包紙 共		1		後欠	
E	3	1	6623			羌上申一札之事 (大樽川小破組合村々日延へ書付写し断簡)	[申正月22日]						一紙		1			
E	3	1	6573			加藤津大夫へ之案 (羽根野野西村谷先_場の件等につき書状下書)	[酉] 9月3日		土屋甚五兵衛		加藤津大夫		切紙					
E	3	1	6625	あ～え		[書状断簡]									4			
E	3	1	6625	あ		[上本田村絵図関連書状断簡]	10月4日		右田(伴右衛門)				切紙 包紙 共		1			
E	3	1	6625	い		[上本田村絵図関連返書下書断簡]	[酉] 10月5日		縣り(二人)		右田伴右衛門		切紙		1			
E	3	1	6625	う		[桑原輪中及び上之郷輪中より自普請願につき書状断簡]	7月24日		横井郡(蔵)、(赤生 齋右衛門)		大嶽弥部右衛門、 加藤頼之進、 藤田治左衛門		切紙		1			
E	3	1	6625	え		[書状断簡]					土屋甚五(兵衛)		切紙		1			
E	3	1	6626			覚 (大川通り立会い見分出役中の雑用金勘定等につき書付)	戌4月29日		三和六左衛門		三輪孫六郎		切紙		1			

D	3	2	116	あ	御公私伺書 (横枕別の件是方筆頭への照会及び領分村々勘定目録の土蔵納め等何うにつき書付)	正月25日	土屋甚五兵衛		切紙	1	
E	3	1	6574		[尾州領池田町屋村と脇郷出入に関する書付一覽する等につき書状]	2月19日	加藤類之進	原田嘉左衛門	切紙	1	後欠
E	3	1	6627		[羽根及び駒野の件他右田伴右衛門より連絡依頼ある等につき書状断簡]	2月24日	土屋甚五兵衛	大藏弥部右衛門	切紙	1	前欠
E	3	1	6575		[采女領分羽根村及び高須領駒野村浚いの儀につき請状]	2月	戸田九郎右衛門光藏	高[木]新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6576		[勢州油島新田地先洗堰普請所に関する組合村々出願につき書状]	3月13日	川内良助、高橋鋭吉	三和六左衛門、小寺勇、平塚武左衛門、鈴木弥一右衛門、加藤兼左衛門	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6577		[油島新田地先々切普請所の修復自普請出願あるにつき奉書]	3月16日	山田清記、加藤兼左衛門、鈴木弥一右衛門、三輪孫六郎、小寺勇、三和六左衛門	横井平八郎、水野桂治郎、右田伴右衛門	半縦	1	
E	3	1	6628		[新懸廻しの件は大野村文蔵発起の様子につき書状]	3月18日	[三和] 六左衛門	小寺、鈴木	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6629		[昨年国役普請出来形帳の奥書名前引合せ等につき書状]	3月24日	平塚武左衛門	三和六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6579		[廻村の件等につき書状]	4月朔日	[横井] 兵八郎	[三和]六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6580		追書 (廻状文言及び取払い日限の件等につき追啓)	[4月朔日]	[横井兵八郎]	[三和六左衛門]	切紙	1	
E	3	1	6581		[油島新田地先締切破損修復自普請願場立会い見分の通知につき返書下書]	4月4日	川通役・六人	水野桂次郎、中島寅次郎	切紙	1	
G	1	3	2376		乍恐奉願上候 (川通取払い見分御用の雑用割合金の下渡し願うにつき書付)	4月9日			切紙	1	
E	3	1	6630		[笠松より村継状到着及び返報村継につき付札]	[4月14日]			14.7× 4.2	1	
F	5	2	508	さ	[河堤普請に際する見廻り御用済む挨拶等につき返書]	4月23日	小笠原三九郎長盛	高[木]長橋	折紙	1	
E	3	1	6582		[御用中のため参府断るに伴う挨拶につき返書]	4月27日	三浦平大夫義	[高木]新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6583		[大川通御取払請印帳の返送につき書状]	4月29日	森川春右衛門	三和六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6584		[伊尾川通上郷村々船稼ぎの者共の干水時通船につき書状下書]	4月晦日	三和	三四郎、善左衛門	折紙	1	

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6606		[根古地村猿尾古跡取立て及び新規築足し願に関し障り村々吟味の様子につき返書]	5月15日	原田誠右衛門、小館丹助	土屋瀬左衛門、加藤養左衛門	切紙 包紙共	1	
E	3	1	6631	あ～え	[書状]					4	
E	3	1	6631	あ	[暑中見舞につき書状]	6月2日	齊藤甫十郎徳厚、中村忠右衛門成器、星野礼右衛門忠勤、中島小太郎為久	三和六左衛門、小寺勇、平塚(習)、平塚武左衛門、鈴木弥一右衛門、加藤養左衛門	折紙 包紙 共	1	
E	3	1	6631	い	[暑中見舞につき書状]	6月2日	齊藤甫十郎徳(厚)、[中]村忠右衛門成器、星野礼右衛門忠勤、中島小太郎為久	三和六左衛門、小寺勇、平塚習、平塚武左衛門、鈴木弥一右衛門、加藤養左衛門	折紙 包紙 共	1	
E	3	1	6631	う	[出向時取計らいの礼につき書状]	6月29日	(原田)良之助	[三和]六左衛門、[平塚]習、[平塚]武左衛門、[鈴木]弥一右衛門、[加藤]養左衛門	切紙 包紙 共	1	
E	3	1	6631	え	[明日見分順の件等につき書状]	21日	右田伴右衛門、原田良之助	小寺勇、鈴木弥一右衛門	切紙	1	
E	3	1	6586		[尾州領横曾根村地内の当領浅草輪中水落ち江筋拡張の願につき取計い依頼状]	7月10日	戸田九郎右衛門光藏、和田権之進義甫、堀新五左衛門敬忠、小原二兵衛能右	高[木]新兵衛	切紙	1	前欠
E	3	1	6632		覚(呼出しの大垣領惣代到着につき書付)	7月29日		上	切紙	1	
E	3	1	6588		[濃尾勢州川一件取調べにつき副啓返書]	8月3日	鈴木半右衛門	大藏弁之丞	切紙	1	
E	3	1	6635		[犀川通及び五六橋川通の取扱い指示につき書付]	8月3日			切紙	1	
E	3	1	6589		[大垣領浅草水落の篠遠山より返書の趣連絡につき礼状]	8月6日	戸田九郎右衛門光藏、和田権進義甫、堀新五左衛門敬忠、小原二兵衛能右	高[木]新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6643		[桑名郡白鷄新田一件及び松坂一条等につき書状]	8月11日	山内重左衛門	平塚忠四郎	切紙	1	

E	3	1	6590		[大垣領浅草輪中江落の入組解決につき礼状]	8月17日	戸田九郎右衛門光威、 和田権進義甫、堀新五 左衛門敬忠、小原二兵 衛能右	高〔木〕新兵衛	切紙	1	戸田
E	3	1	6591		[川通役立会いの仕法につき書状]	8月19日	高木内蔵	高木鉄三郎	切紙 封筒共	1	
E	3	1	6592	あ～い	[書状]				包紙	2	
E	3	1	6592	あ	[万寿一件につき書状]	8月20日	森川春右衛門、 水野郡右衛門	三和六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6592	い	[連名内書への返答につき書状]	21日	春右衛門	六左衛門	切紙	1	
E	3	1	6593		[連絡の茶及び金子送付の件等につき書状]	8月22日	川添庄右衛門、 原田嘉左衛門、 加藤頼之進	土尾瀬左衛門、 藤田治左衛門	切紙	1	
G	3	1	1064		[山内重左衛門と白鷺新田一条及び松坂一条相談につ き書状]	8月23日			切紙	1	
E	3	1	6594		[濃尾勢州川々普請に際する札等につき掛合い書類下書]	[8月]			切紙	1	
E	3	1	6644		[福東及び大垣河輪中より大垣預所と尾州領村々へ掛 る出入場立会い見分出役への挨拶等につき書状]	9月7日	原田良之助、 右田伴右衛門	小寺勇、鈴木 弥一右衛門	切紙	1	
E	3	1	6595		[尾州遠山彦左衛門への面会につき礼状]	9月10日	戸田九郎右衛門光威、 堀新五左衛門敬忠、戸 田俊右衛門義泰、小原 二兵衛能右	高〔木〕新兵衛	折紙	1	
E	3	1	6645	ゆ	[鉄三郎十三日に川通出頭のため鏝寿丸及び福三郎暇 乞いの問い合わせにつき奉書]	9月11日	鈴木弥一右衛門、 加藤養左衛門	三和六左衛門、 小寺勇	切紙	1	
E	3	1	6646	う	[鉄三郎川通持場見分のため十三日発駕の通知に対す る返礼につき奉書]	9月11日	平塚武左衛門	三和六左衛門、 小寺勇	切紙	1	
E	3	1	6596		[石田八神猿尾取払い及び油島締切りに関する尾張方 存寄りにつき書状]	10月4日	林又左衛門	高木新兵衛	切紙	1	
E	3	1	6607		[羽根駒野の件相談につき書付]	10月5日	笠松・出役	多良・兩人	切紙	1	
E	3	1	6647		[川通御用のため立会実施の変更依頼につき書状留書]	11月4日			切紙	1	
E	3	1	6597		[国役普請見廻御用受命の件につき返書]	11月7日	藤田(与)次兵衛、 加藤孫助	小寺牧太	切紙	1	
E	3	1	6648		[書状断簡]	11月15日	棚橋辰左衛門、 右田伴右衛門	松井周右衛門、山田元 左衛門、加藤要左衛門	切紙	1	前欠

大	中	小	番	枝	標	題	年	代	作	成	宛	名	形	態	数	量	摘	要
F	5	2	511	ゆ		〔入寮に際する機嫌伺いへの礼及び美濃国役普請見廻り御用拜命の祝詞につき書状〕	12月5日		小笠原三九郎長盈		高〔木〕修理		折紙	1				
E	3	1	6649			〔房島村及び川筋三ヶ村出入に関し松平伊賀守より尋問への返答承知につき奉書下書〕	12月10日		掛り3人		小館丹助、 森川春右衛門		切紙	1				
G	3	1	1200	う		口上（御用状延引につき書状）	12月18日		三和六左衛門		小寺勇		切紙	1				
E	3	1	6650			〔川通出役時の諸雑用金割戻しの件承知につき書状〕	12月21日		平塚武右衛門、 鈴木弥一右衛門、 加藤春左衛門		三和六左衛門、 小寺勇		切紙	1				
E	3	1	6651			〔川通出役の不足金送るにつき書付〕	12月27日		鈴木弥一右衛門		三和六左衛門		切紙	1				
E	3	1	6652			〔長島出願に関し郡奉行の多良出向を望むにつき伺書〕	12月28日		三和六左衛門		上		切紙	1				
E	3	1	6653			〔大垣領水落の件等につき書付断簡〕	2日						切紙	1				前欠
E	3	1	6524			覚〔諸色代金勘定書〕							折紙	1				
E	3	1	6598			覚〔川々御普請中見廻りに際する心得等につき書付写〕							切紙	1				
E	3	1	6599			〔目付衆堤方等人名書付〕							切紙	1				
E	3	1	6600			〔堤出来具合等につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6601			〔酒料包紙〕								1				
E	3	1	6602			尾州領安八郡中村新規掛廻シ一件御届普書等控入〔紙袋〕								1				
E	3	1	6603			〔木曾三川流域凶輪中部分付紙〕								1				
E	3	1	6633			〔陣川通及び五六橋川通取払い指示につき書付断簡〕							切紙	1				
E	3	1	6634			〔犀川通及び五六橋川通取払い指示につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6636			〔糸貫川通取払い指示につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6637			〔糸貫川通取払い指示につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6638			〔糸貫川通取払い指示につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6639			〔糸貫川通取払い指示につき書付断簡〕							切紙	1				後欠
E	3	1	6640			〔境川通取払い指示につき書付断簡〕							切紙	1				後欠
E	3	1	6641			〔境川通取払い指示につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6642			〔境川通取払い指示につき書付断簡〕							切紙	1				後欠
E	3	1	6654			〔川口堰出来形帳より幅狭の件吟味あるにつき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6655			〔川通御用出郷時供方につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6656			覚〔十万山附洲取払い見積につき書付〕							切紙	1				
E	3	1	6657			〔堤川取払い指示につき書付下書〕							切紙	1				

E	3	1	6658		指上申御普請之事〔伊尾川通川瀬替りにつき書付下書断簡〕				切紙	1	後欠
E	3	1	6659		〔貳番猿尾普請取掛りの指示等につき書付断簡〕				切紙	1	前・後欠
E	3	1	6660		〔土坪及び人足勘定につき書付断簡〕				一紙	1	前欠
E	3	1	6661		柱本へ申渡（糸貫川通柱本村石塔場のはか印古木に 関し指示書付下書断簡）				切紙	1	後欠
E	3	1	6662		高屋江申渡（臺所立木伐採命ずるにつき書付控断簡）				切紙	1	後欠
E	3	1	6663		覚（長良川大藪村渡場猿尾継足し間数につき書付断簡）				切紙	1	後欠
E	3	1	6664		〔油断なく取払い命ずるにつき書付断簡〕				切紙	1	前欠
E	3	1	6665		〔古木の取払い等につき書付断簡〕				切紙	1	前・後欠
E	3	1	6666		〔土手堤新規工事の着手につき指示書付断簡〕				切紙	1	前欠
E	3	1	6667		〔土手堤新規工事の着手につき指示書付断簡〕				切紙	1	前欠
E	3	1	6668		〔取払い命ずるにつき書付断簡〕				切紙	1	前・後欠
E	3	1	6669		〔伐払い命ずるにつき書付断簡〕				切紙	1	前・後欠
E	3	1	6670		〔多量の川通附州心配につき書付断簡〕				切紙	1	前・後欠
E	3	1	6671		〔書状村継指示書断簡〕				切紙	1	前欠
E	3	1	6672		〔村継指示廻状断簡〕				切紙		前欠
E	3	1	6673		〔村継指示廻状断簡〕				切紙	1	後欠
E	3	1	6674	あ～い	〔書類綴り〕					2	
E	3	1	6674	あ	〔書状断簡〕				切紙	1	後欠
E	3	1	6674	い	〔村継指示廻状断簡〕				切紙	1	後欠
E	3	1	6675		〔書付断簡〕				一紙	1	前欠
E	3	1	6676		〔書付断簡〕				一紙	1	前欠
E	3	1	6677		〔高水下筋につき書状下書〕				切紙	1	

大	中	小	番	枝	標 題	年 代	作 成	宛 名	形 態	数 量	摘 要
E	3	1	6679		[石田村及び八神村の儀は当時不用でもないか等につき追啓断簡]		[林又左衛門秋親]		切紙	1	前欠
E	3	1	6696		濃州多芸郡祖父江村・飯積村御普請絵図 [付紙]		高木新兵衛、 高木求馬、 高木内膳		17.0× 3.5	1	
E	3	1	6697		濃州安八郡・多芸郡・石津郡水除普請願井中島郡相障俣存寄書付 [付紙]				15.5× 5.5	1	
E	3	1	6698		[蛇籠本数及び仕様につき付紙]				20.5× 8.9	1	
E	3	1	6699		[築足し普請実施を何うにつき文章修正付紙]				24.0× 10.9	1	
E	3	1	6700		[以下願場所遺地の吟味等につき付紙]				29.3× 18.4	1	
E	3	1	6701		[塩喰村他付近川幅変更につき付紙]				29.5× 12.9	1	
E	3	1	6702		[扶持方米九百四拾六石二斗につき付紙]				16.6× 9.8	1	
E	3	1	6703		[南今ヶ淵村国役普請時に三人中見廻り御用勤務につき付紙]				12.2× 6.6	1	
E	3	1	6704		[直江村他二ヶ村本帳脱落につき付紙]				15.5× 6.4	1	
E	3	1	6705		[場所掛り姓名書付及び定旅宿割書付を一紙に認め提出につき付紙]				15.3× 5.3	1	
E	3	1	6706		[大小川々附州及び瀬替り他のため水行障害もあるにつき付紙]				14.5× 10.1	1	
E	3	1	6707		[猿尾先継ぎ三十間願うにつき付紙]				12.1× 1.6	1	
E	3	1	6708		[封筒]		川崎平右衛門支配所・ 本巢郡上本田村・庄屋 ・沢平、年寄・文十郎、 本巢郡下本田村・庄屋 ・善右衛門、同・久次 郎				

E	3	1	6710		[北藤原村地内付近地図所簡]					29.0×		
E	3	1	6711	あ	[川普請目論見絵図付紙]					40.0×		
										20.3		